

さきらで一人ピアノリサイタル 2023-24

# オリジナルコンサート

～大ホールで披露する、  
わたしのオリジナルコンサート～

オリジナルコンサート出演者(五十音順)と演奏曲(一部)

## 井口 由美

ショパン：エチュード op.25より 第1番 変イ長調「エオリアンハーブ」ほか

## 奥村 花凛

グリーグ：ホルベルク組曲 op.40より 第1曲「前奏曲」ほか

## 越智 文香

ラフマニノフ：幻想的小品集 op.3より 第2番「前奏曲“鐘”」ほか

## 衣川 紗羽音

モーツァルト：ピアノソナタ 第7番 ハ長調 K.309 第1楽章 ほか

## 中西 愛

シューマン：「子供の情景」op.15より「見知らぬ国」「トロイメライ」ほか

## 根来 洋子

ヤナーチェク：草陰の小径にて 第1集より 第7番、第9番 ほか

## 福原 紗規子・吉本 真紀子(連弾)

ドヴォルザーク：スラブ舞曲 第1集 op.46より 第4番、第6番 ほか

## 松尾 登喜子

ラフマニノフ：10の前奏曲 op.23より 第3番、第4番 ほか

## 守田 恭彦

バッハ(ケンプ編曲)：コラール「主よ、人の望みの喜びよ」BWV147 ほか

## 山下 大樹

ベートーヴェン：ピアノソナタ 第15番 ニ長調 op.28 第3、4楽章 ほか

「さきらで一人ピアノリサイタル」とは、ピアノを愛する方々に音響効果の優れた反響板仕様の大ホールで、コンサート用グランドピアノによる贅沢な舞台練習を行っていただくことを目的とした企画です。

その「さきらで一人ピアノリサイタル2023-24」の登録者のうち、希望者10組によるオリジナルコンサートを開催します。

今回は、さきらが所有する3台の外国製グランドピアノのうちオーストリア・ウィーンで生まれたピアノ「ベーゼンドルファー」を使用して、出演者が各々のプログラムを披露します。

講評には、ピアニストの塩見亮氏を迎えます。

ピアノに親しむ贅沢な一日をお楽しみください。



## 使用ピアノ

オーストリア・ウィーンで生まれたピアノ

## ベーゼンドルファー

モデル290インペリアル

1828年創業の老舗メーカーの旗艦ピアノ。標準の88鍵の下に更に9鍵の追加鍵盤を備えており、この弦が共鳴することで中低音の豊かな響きを生み出します。

本器は1998年12月16日、ウィーンのベーゼンドルファー本社にて、イヨルク・デームス氏により選定されました。

## 講評

## 塩見 亮

京都市立堀川高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部を経て渡独、マンハイム音楽大学大学院研究課程室内楽・歌曲研究科、芸術家育成課程、演奏家育成課程をそれぞれ最優秀で卒業、ドイツ国家演奏家資格取得。これまでにピアノを市川直子、丸山博子、矢部民、松尾奈々、Paul Danの各氏に、室内楽をPaul Dan、Susanna Rabenschlagの各氏に、歌曲研究をHeike-Dorothee Allardt、Ulrich Eisenlohrの各氏に師事。第47回全日本学生音楽コンクール大阪大会高校の部1位。平成19年度平和堂財団芸術奨励賞、平成24年度天津市文化奨励賞ほか受賞多数。ソリストとして、国内外におけるリサイタルやオーケストラとの共演を重ねる。また、室内楽奏者としてもTVやラジオへの出演、(財)青山財団より2008年度バロックザール賞を受賞するなど、共演者からの信頼も厚い。Duo Schügelzeug、Trio Rintonare、Ensemble Vitraメンバー。現在、京都市立芸術大学音楽学部、相愛大学音楽学部、京都市立京都堀川音楽高等学校各非常勤講師。



2024 **2.4** (日)

13:00 開演 **栗東芸術文化会館さきら 大ホール**

(12:30 開場) **入場無料**(全席自由・要整理券) ※未就学児入場不可  
※整理券は1月6日(土)からさきら窓口にて配布開始

主催・お問合わせ

栗東芸術文化会館さきら 077-551-1455

〒520-3031 滋賀県栗東市糺2-1-28 9:00~22:00/月曜休館・祝日は開館

JR栗東駅  
より徒歩 約5分

名神高速道路  
栗東(C)より 約3km

